

かみねっちょ新聞

令和3年 12月号

フラッグエノン、関係修復までの道のり

2019年から闘争のため別々に暮らしていたフラッグエノンのオスとメスたち。それがなんと、今年になってまた一緒に暮らせるようになりました！それまでの長い道のりをご紹介します…。

登場するフラッグエノン



←**ピット** (♂)
今年で30歳になる高齢個体。まだまだ元気だが、メスに対して遠慮気味。



←**モモ** (♀)
今年で20歳になる中年個体。ピットに対しては強気、ゴマに対しては遠慮気味。



←**ゴマ** (♀)
今年で8歳になる一番若い個体。誰にも遠慮しない。

3頭平和に過ごす日々

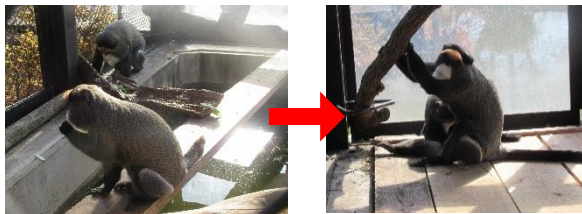
メスたちによるしつこい追跡が目立つ。ピット、応戦せず逃げてその場をしのぐ。

群れ関係悪化。
メスたち、ついに攻撃を仕掛ける。

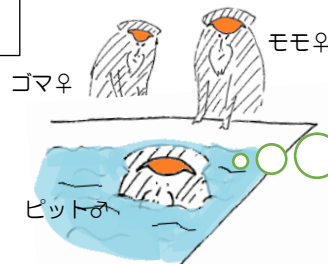
2019年

<ビフォー>

<アフター>



高齢個体ということもあり、安全のため池の部分を板でふさぎました。



メスたちあまりにもしつこいので、水の中に逃げることも…。

フラッグエノンは天敵から逃げるときに水に入ることがあると言われています。

ピット、ついにケガをする。メスと完全に
分かれて過ごすようになる。

2020年

～別居中～

一旦オスメス部屋を分け、期間をあけてから同居を試みるも、失敗。

約二年ぶりにピットとモモで同居
トラブルなく、成功！

2021年

<最新情報>
ピット、モモペア、
ピット、ゴマペアで同居練習。
今のところ問題なし。

モモ♀



ピット♂

～担当者つぶやき～

今回の一件は年齢の変化に伴い群れのパワーバランスが変化したのが主な原因と考えます。(オスが若い時にはこんなことなかった…。)ただ、なぜ今は闘争が起きないのかは不明です。もしかするとまた闘争が勃発するかもしれませんが、どうかメスの気が変わらず、このまま平和に、あわよくば3頭で暮らせるようになることを祈るばかりです…。

飼育員 きむら

今年の春に生まれたマーラ、アナグマの子どもたち

【マーラ】

4/10 マーラにオスの子どもが誕生。体重は500gほど。母親の6%位。毛の生えたしっかりした状態で生まれてきて、当日から歩き、翌日には草を食べ始め、みるみる大きくなっていきました。4カ月もすると大人とあまり変わらない大きさに。成長が早い！あっという間に大きくなりました。

【アナグマ】

4/15 ニホンアナグマに3頭の子どもが誕生。生まれた時の体重は80gほどと(母親の体重の1%位)非常に未熟です。無毛で眼も開いていません。1カ月で眼が開き、2カ月位から食べ物を口にしたり、とにかく食欲旺盛、好奇心いっぱい。半年過ぎて大人の半分位の大きさに成長。まだまだ子どもらしい姿で、3頭で走り回り、じゃれ合う様子が観察できます。

飼育員にとって担当している動物の“繁殖”というのは、大きな喜びで、また、その子供たちの成長の様子というのも楽しみなものです。生まれてくる子供の数や状態、成長のスピードの違いは、動物たちが繁殖、保存のための工夫として作りあげたもので実に様々です。それぞれ、面白く、本当にたくましいなあと感心させられます。

飼育員 山内



ニホンアナグマの子どもたち



1月の予定 ※1月19日(水)は臨時休園です。

- ・「動物たちに年賀状を書こう」掲示 1日~31日まで
- ・チンパンジーの誕生日会 5日(水)と22日(日)
- ・ネズミの遊園地を作ろう 30日(日) ※事前募集イベント



詳細はかみね動物園ホームページをご覧ください

または 0294(22)5586 まで

※12月22日(水)は臨時休園です。



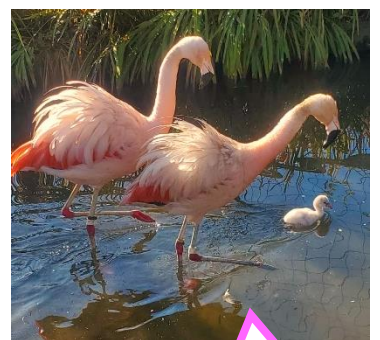
12月1日(水)よりやり方を変えて「ふれあい」を再開します。詳しくはHPをご覧ください。

フラミンゴの赤ちゃん

誕生!



数年前から繁殖が止まっていたフラミンゴたち。今年は繁殖に挑戦しました。巣をつくれる場所を用意したところ、続々と巣を作り、産卵し始めました。♂♀で交代しながら雨の日も風の日も卵を温め、2021年11月末現在、6羽の雛が誕生しています。一般的にいわれているフラミンゴの産卵時期に比べると遅いため、雛たちが寒さを乗り越えられるか心配ではありますが、親鳥たちが甲斐甲斐しくお世話をしているので、このまますくすくと元気に育ってくれるといいなと思っています。



産まれてから1週間もしないうちに、水の中に入って泳ぎ始めました!